

# せきじりの

富津市立環小学校

学校便り No. 2 2

平成 31 年 3 月 14 日

mail tamaki@futtu.ed.jp


URL http://www.futtu.jp/syo-tamaki/

## 学校関係者評価

3月1日(金)、本校学校評議員の皆様へ「学校関係者評価」をしていただきました。評価結果を下記の通りお知らせします。

【自己評価】	(A) 十分到達できた	(B) ほぼ達成できた
	(C) あまり達成できていない	(D) 達成できていない
【学校関係者評価】	(A) 妥当である	(B) ほぼ妥当である (C) 妥当であるとは思わない

### 【1】学校経営

	評価項目	自己評価	自己評価説明欄	関係者評価	関係者評価説明欄
1	「よく学ぶ子」(めあてを持って、進んで取り組み学び合える・基礎基本を身につけ、意欲的に勉強できる・地域を愛し、地域について語ることができる)は、達成されているか。	B	低学年のうちからTT(複数教員による授業)や学習サポーターの先生に入ってもらい、個に応じた指導ができています。今後も一人一人をよく見て、実態に応じた指導や手立てを考え、行っていきたい。	B	<p>&lt;自己評価はほぼ妥当である&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小規模校ならではの良さが出ていると思う。</li> <li>○毎月の「学校だより」は区で閲覧されており、学校での子どもたちの活動の様子が良くわかる。</li> <li>○環小学校だより「せきじりの」を発行するなど地域住民等に教育活動を伝え、充実していると思う。</li> <li>○学校外の道路等で子どもたちに会うことがあるが、元気にあいさつできる子が多い。</li> <li>○自己評価説明欄に記載のとおり、各項目ともほぼ妥当であると思う。特に「やさしい子」については良く指導されている。</li> </ul> 
2	「やさしい子」(いつでもどこでも、進んで明るいあいさつ返事ができる・思いやりの心を持って、誰に対しても親切にできる・人と関わる力を持ち、感謝の気持ちを表せる)は、達成されているか。	B	思いやりがあり、高学年は低学年に優しくしたり、学年関係なく遊んだりできている。あいさつについて、みんなですいたら良いか考える時間をとった。場にあった行動や言葉遣いを指導した。		
3	「がんばる子」(友達に尽くすことができる・めあてを持って最後までやりぬくことができる・進んで運動に親しみ、身体をきたえることができる)は、達成されているか。	B	給食や掃除の当番、係活動など、自分たちだけで声をかけ合い、やりきることができる姿に成長を感じている。運動の大切さ、身体のために必要だということの意識を高めることができた。		
4	各種たより(学校、学年、保健、ホームページ等)により、学校の教育活動を発信したか。	B	便りやホームページ等で十分発信されている。写真などを使い、学級だよりで情報発信をするようにした。子どもたちの活動の様子や頑張りが伝わるよう、さらに内容を工夫したい。		

### 【2】確かな学力向上

	評価項目	自己評価	自己評価説明欄	関係者評価	関係者評価説明欄
1	生徒指導の機能を生かした授業の工夫と、基礎基本の確実な定着が図られたか。	B	学習の進め方・ノートなど、学校で統一して行っている。TT(複数教員)による指導をすることにより、充実した授業を行うことができた。朝の学びでは、発達段階に応じたプリントの活用が図られた。	B	<p>&lt;自己評価はほぼ妥当である&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校評議員として授業参観、人権擁護員として人権教室に臨んだ時に子どもたちが真剣に取り組む姿が伺えた。</li> <li>○低学年はまだしも、中高学年はほぼできていると思う。</li> <li>○自己表現の仕方を積極的に発信できるよう、更に工夫していただきたいと思う。</li> <li>○全ての児童が地域を知る・語る・伝える事ができるよう、今後も社会科勉強を積極的に実施し、地域を「愛する人」を育成していただきたい。</li> <li>○評議員とすれば一番評価が難しい項目と考えるが、課題もあると思うので、一つ一つ課題を整理し、学力向上を目指してほしい。</li> <li>○保護者に対する読書に関する講演会は、家庭での読書活動につながっていると思う。</li> </ul>
2	読書活動の充実が図られたか。	B	委員会やボランティアさんと連携し、図書室の環境整備に努めた。朝の学びの読書はかなり行われたと思う。これをいかに家庭等の自由な時間に読書につなげるか考えたい。		
3	自己表現の場の工夫により、自ら学び思考し、表現する力の育成が図られたか。	B	集会の学年発表が工夫されていて良いと思う。少人数のグループによる話し合いの場、発言の場を、学年毎に意図的に設けることができた。児童に自信がつけたり、いろいろな考えにふれたりすることができた。		
4	「地域を愛し、地域を語ることができる児童の育成」及び「地域教材の開発・地域講師の協力による学習活動の充実」が図られたか。	B	児童のアンケートを見ると、地域の良さについて答えられる児童が増えている。地域教材・講師については、学年に差が見られた。計画的な実施を心がけたい。		

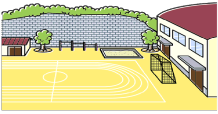
### 【3】豊かな人間性の育成

	評価項目	自己評価	自己評価説明欄	関係者評価	関係者評価説明欄
1	児童の自己肯定感を高める（自信を高める）活動の充実が図られたか。	A	陸上・体操・音楽をはじめ、校内・校外で様々な活動を行うなど達成感を味わわせることができた。どの行事でも子どもたちの力を発揮させようと、担当・担任が努力し、良い結果があった。	B	<p>&lt;自己評価はほぼ妥当である&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小規模校の良さが出ていると思う。</li> <li>○見学した運動会では学年の競技や全校での応援に、子どもたちは全力で取り組んでいた。自分の持てる力を十分発揮し、達成感を味わっているように感じた。</li> <li>○いろいろな個性を持った子どもたちなので、個性を大事に指導をお願いしたい。</li> <li>○児童の自信を高める活動については、児童それぞれのレベルに合わせた教育を充実させ、確実な進歩を望みたい。</li> <li>○小規模校なので、子どもたちに寄り添い、更に元気で明るい子どもたちに育つように取り組んでほしい。</li> </ul>
2	特別支援教育の視点を生かし、心の居場所となるような経営（学級・学校）に努めたか。	B	一人一人の役割があり、学級の中で存在感が持てるような活動をしている学年が多い。1日の中で、機会を捉えていろいろな学年の子どもたちと話し、様子を見るよう努めた。		
3	豊かな人間関係づくりの推進として、明るいあいさつ・返事の指導を積極的に推進したか。	B	あいさつは個による差がある。明るいあいさつはできるようになってきたものの、場に応じたあいさつまでには到達していない。今後も、継続的に指導が必要だと思う。		
4	児童理解促進のため、教育相談を定期的に実施し、全職員で現状把握ができたか。	A	学級担任による複数回の教育相談だけでなく、担任以外の職員とも教育相談を実施することができた。職員全員で児童を見ていく体制ができていて良い。		

### 【4】健康・体力づくり

	評価項目	自己評価	自己評価説明欄	関係者評価	関係者評価説明欄
1	体力・運動能力の向上を図ったか。	B	体育の授業が体力づくりのどちらかが毎日行われる計画になっており、運動する時間が確保されている。運動能力証合格やマラソン大会に向けて、積極的に運動に励む子どもたちの姿が多く見られた。	B	<p>&lt;自己評価はほぼ妥当である&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○運動会等で子どもたちが積極的に取り組んでいると思われる。</li> <li>○低学年はまだしも、中高学年はできていると思う。（体力・運動能力面）</li> <li>○いざという時のために、避難訓練は絶対に必要であり、計画的に実施されていること、大切なことだと思う。</li> <li>○インフルエンザ予防活動も合わせて対策を実施・継続させていただきたい。（予防接種も視野に）</li> <li>○特に大事な項目であると考え、体力・健康安全意識の向上を目指してほしい。</li> </ul>
2	健康安全意識の向上に向けて指導の充実を図ったか。	B	生活チェックの習慣もでき、少しずつ意識が高まっていると思う。食育指導や避難訓練を計画的に実施することができた。怪我を防ぐ、危険予測をする力をさらに育てたい。		
3	「自分の命を自分で守ることができる」を目指すべく、危険予知・危険回避能力を高め、防災意識の定着を図ったか。	A	避難訓練を計画的に実施できた。また、学期に1回のワンポイント避難訓練やシェイクアウト訓練も行うことができた。時間や場所を変え、今後も実施していきたい。		

### 【5】信頼・活力のある学校

	評価項目	自己評価	自己評価説明欄	関係者評価	関係者評価説明欄
1	学校とPTA・地域社会・保育所・中学校との連携による教育活動の推進を図ったか。	B	保護者と児童の様子を情報交換し合い、同じ歩調で成長を支えることを意識できた。合同陸上、合同合唱祭、教育講演会など、特に中学校との連携を密にできた。	B	<p>&lt;自己評価はほぼ妥当である&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育活動の内容、量等が多い中で、先生方が子どもたちのために真剣に取り組んでいる姿に感謝する。</li> <li>○児童数が少ないので、できていると思う。</li> <li>○PTA、地域社会、中学校との連携が良くできている。</li> <li>○中学校との交流や地域住民とも連携も十分に図られ、PTAの活動も充実していると思う。</li> <li>○今後もPTA・地域との連絡情報を密にし、教育を活性化してほしい。</li> <li>○信頼・活力のある学校は地域に受け入れられる学校となることが大事であると思う。地域社会との連携について、PTAの皆さんと一体となり、対応することが大事であると思う。</li> </ul>
2	校務の効率化を図り、ゆとりを持って子どもに向き合える職場づくりに努めたか。	B	ノー残業デーの取り組みや体調面のケアなど、職員間で気を配っている。仕事や出張が重なる厳しい時期があったが、周りの先生方の協力で乗り切ることができた。		
3	服務規律を遵守し、教育公務員としての信用の保持に努めたか。 	A	服務規律などがしっかり守られている。また、不祥事根絶への取り組みや、個人情報等を校外に持ち出さないよう努めることができた。今後も職員間で協力し、継続していきたい。		

「学校関係者評価」とは、本年度の教育実践について我々職員が自己評価した結果について、保護者・地域住民等の学校関係者などにより構成された評価委員会が評価するものです。そして、その評価結果を次年度に活かしていくためのものです。

今回の評価結果を真摯に受け止め、いただいた意見を参考に、次年度の教育実践に活かしていきたいと考えます。